

広報編集委員長のココが聞きたい

議長 川西 仁 × 広報編集委員長 立道 美孝

信頼回復が最優先事項！

市民の代表として、ワンチームの美馬市議会へ

立道委員長（以下立道）

12月議会も終了し、お疲れ様でした。率直に、12月議会を終えての感想をお願いします。

川西議長（以下川西）

やっとコロナ前のような平時の状態に戻ってきたかなというのが率直な感想です。また、美馬市議会員政治倫理条例も制定することができ、新たなスタートを切ることができたように思います。

立道 そうですね。今年度は色々ありました。美馬市議会として、新たなスタートを切り、広報編集委員長としても、市民の皆様に有益な情報を届けできるよう頑張りたいと思います。また、会議やイベントもコロナ前のように開催されると、ご多忙なのではないかと思いますが、議長就任後、身の回りのことで何か変化はありましたでしょうか。

川西 それはもう仰るとおりで、とにかく忙しくなりました。（笑）各方面でのイベントも解禁され、人の流れ

れも活発になり、活気付いて来たのは非常に喜ばしいことではあります。しかし難いことに、忙しくさせてもらっております。

立道 議長としての抱負や議長就任中には、どのようなことに取り組みたいですか。

川西 まずは美馬市議会として、市民の皆様の信頼回復が最優先事項ではないかと思っております。その1つとして、市民の皆様と意見交換を行いたいと思つております。厳しい意見をたくさんいただくとは思いますが、貴重な意見として真摯に向き合えるよう、顔を合わせてお



話させていただく機会をつくることが大事なのではないかと思つてあります。また、これまでの議長さんも進められていた、議会改革についても、新型コロナウイルスの影響もあり、停滞しておりましたので、改めて取り組んで参りたいです。更に、政治倫理条例についても、制定できたから終わりということではなく、最低でも年に1回は政治倫理についての学習会を行うなど、更に強い倫理観をもつて、議会活動に取り組んでいけたらと思っております。

立道 議会改革について、具体的に何か考えられていることはありますか。

川西 以前も開催した、子ども議会についてはもう一度開催してみたいという気持ちがあります。前回は中学生との子ども議会でしたが、投票年齢が18歳に引き下げられたこともあり、高校1・2年生を対象に開催できたらと考えています。

また、美馬市議会へのモニター制度の導入です。市民の皆様の中から、美馬市議会に対する評価や意見をいただける方を公募し、年に1・2回、ご評価いただき制度を導入で

きれば良いなと思っています。それと議員定数については、特別委員会を発足させましたが、ただ単に人口比率的に議員数を削減した方が良いから削減しようというような議論ではなく、定数が削減した場合の常任委員会の構成をどうするか、現在3つある常任委員会を2つにするかなど、中身の部分について、まずは検討し議論していければなと思っています。そのために、議員定数を削減されたり、委員会構成を変更されたことのある市議会への視察研修等も必要なものではと考えています。

立道 モニター制度の取組は、新しい試みでもありますし、議会改革にも通ずる貴重な意見をいただける制度だと思うので、しっかりと議論を取り組めたら良いですね。

川西 議会の取組については、色々お話を伺えたと思いますが、美馬市議会が行政と共に取り組んで行かなければならない課題等については何かあればお聞かせください。

川西 そうですね。やはり人口減少が美馬市においても課題であるかと思っているので、人口減少に歯止めをかけられるような施策を議会と行政が共に取り組めればなと思います。特に、若者の住みやすさや子育てのしやすさというのはとても重要な部分だと思うので重点的に進めていきたい課題です。

立道 人口減少については、長きに渡る課題でもありますし、行政と共に市民の住みやすい美馬市になるようにしていきたいですね。

川西 最後になりますが、川西議長の考える美馬市の将来像や市民の方にメッセージがあればお聞かせください。

川西市の将来像としては、先程の人口減少の話にも通じるのですが、人口の最も多い脇町を中心に活気のあるまちづくりができる良いかなと思っています。脇町は藍商人のまちとして、商業を中心に栄えていたまちであつたと聞いております。そんな脇町が将来的に商業のまちとして賑わいを取り戻し、徳島県西部の中心地として活力の溢れる美馬市と言わ



川西 仁